

科目ナンバリング		U-LAS04 20024 SJ46									
授業科目名 <英訳>		発達心理学基礎ゼミナール Introductory Seminar on Developmental Psychology					担当者所属 職名・氏名		人間・環境学研究科 教授 大倉 得史		
群	人文・社会科学科目群			分野(分類)	教育・心理・社会(各論)			使用言語	日本語		
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール(対面授業科目)				
開講年度・ 開講期	2025・後期		曜時限	火3		配当学年	全回生	対象学生	全学向		
[授業の概要・目的]											
受講生自身の自己分析と他者との語り合い、および発表と討論を通して、青年期の人格形成と心の動きを具体的に明らかにしていく。「ILASセミナー：発達心理学」に比べ、より内面的な心理的過程に注目する。											
[到達目標]											
自己分析を通して、自分の中のかすかな感覚や無意識的な心の動きを知り、自分を大切にできるようになる。											
[授業計画と内容]											
0．自己分析の方法論(第1回) 1．アイスブレイキング(第2回) 2．青年期における生活感情(第3～5回) 3．青年期における優越感と劣等感(第6～8回) 4．青年期における世界観(第9～11回) 5．職業選択と青年期(第12～14回) 6．フィードバック(第15回)											
[履修要件]											
「ILASセミナー：発達心理学」を履修しているとより望ましい。											
[成績評価の方法・観点]											
各回の自己分析内容と討論への参加度、およびレポートにより評価する(レポート60%、各回の課題40%)。											
[教科書]											
使用しない											
[参考書等]											
(参考書) 大倉得史『拡散 diffusion ～「アイデンティティ」をめぐり、僕達は今～』(ミネルヴァ書房) E.H.エリクソン『アイデンティティとライフサイクル』(誠信書房) 西平直『魂のアイデンティティ』(金子書房) 河合隼雄『大人になることのむずかしさ』(岩波書店) 新宮一成『夢分析』(岩波新書) S.フロイト『夢解釈』(岩波書店)											
----- 発達心理学基礎ゼミナール(2)へ続く↓↓↓ -----											

発達心理学基礎ゼミナール(2)

[授業外学修（予習・復習）等]

日ごろから夢を記録し、分析すること。
青年期に関する文献を集めておくこと。

[その他（オフィスアワー等）]

自己分析のワーク中心の授業で自己開示を必要とするので、そのつもりで受講を検討すること。
受講人数の制限を行う。
初回の授業に必ず出席すること。無断で欠席した者は抽選に通っていても受講を認めない。

[主要授業科目（学部・学科名）]

総合人間学部